

はちおうじの教育

10.15

2012(平成24年)

No.72



▶子どもたちは絵本が大好き(中央図書館のおはなし会で)

大切な一冊と出会うために

絵本や物語を声に出して読む「読み聞かせ」。立ち上がって声を出す子、じっと耳を傾ける子など、子どもの反応はさまざまです。私たちも本を読んで、ドキドキしたり、悲しんだりした経験があると思います。

子どもたちは、本を読むことでそこに書かれて

いる情景を思い描き、創造力や思考力を養い、ことばも学びます。ことばは、表現を豊かにして、コミュニケーション力を高めます。

今号では、子どもたちと本が出会うさまざまな取り組みを紹介します。今秋、家族で大切な一冊を見つけてみませんか。

ひとりで悩まないで!

保護者の皆さん

総合教育相談 ☎664-6949

小中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664-3665

毎週月曜日から金曜日(祝休日を除く)

午前8時30分から午後5時まで

都教育相談センター

いじめ相談ホットライン

24時間対応

全国統一ダイヤル

☎0570-0-78310

●もくじ●

2・3ページ…読書活動推進の取り組み

4ページ…教育委員の人事、ゆめおり教育フォーラム、教育委員会の動き、災害用伝言ダイヤル



▲友だちと一緒に本を選ぶ楽しさ

図書室は無限のワンダーランド

松が谷中学校では、推薦図書を目録にした「知のワンダーランド」松が谷中学校図書リスト」を発行して、生徒一人ひとりに配付しています。このリストには、書名のほかに、本の解説なども掲載。この解説は、図書委員の生徒と図書ボランティア、図書担当の先生が実際にその本を読んだ一言感想などです。さらに、さまざまなジャンルの本に読みやすさのリンクがつけてあり、生徒が本を選びやすいよう工夫しています。このリストができて

からは、図書室に足を運ぶ生徒が増えました。そのほか、自分が読んだ本を友だちに薦めるために、本の感想を書いた「推薦カード」も作成。カードを読むと「この本を読んでみたい」と読書に誘われます。ワンダーランドとは「不思議の国」のこと。1冊の本から広がる世界は、まさにワンダーランドです。「物語の主人公になれる」「いろんな考え方があつて学べる」など、生徒たちが読書の楽しさを語ってくれました。

本との出会い～ブックスタート

絵本を通じて、あかちゃんとお父さん、お母さんがふれ合って、楽しい時間をつくってもらおうと始まったブックスタート。市では、3・4か月児健診の時に絵本とわらわらのDVDなどを手渡しして、本に親しむきっかけづくりのお手伝いをしています。あかちゃんはまだ、字を読むことやことばの意味をすべて理解することはできません。それでも、絵をじっくり見つめたり、指さしたり、読んでくれる人を見つめて、その声に耳を澄ませたりと、

あかちゃんそれぞれの楽しみ方をします。健診に参加したお母さんは「上の子どもブックスタートで、本と出会いました。絵本が大好きで、毎日本を開いています」と話してくれました。心とことばを育むには、温かなぬくもりの中で優しく語りかける時間が必要だといわれています。乳・幼児期にお父さんやお母さんの膝の上で、絵本を読むひと時を持つことは、子どもの豊かな心の成長と家族の絆(きずな)を深めます。



▲健診の待ち時間にボランティアが本の読み方を実演

本は学びの宝庫

火曜日の朝、清水小学校で見られる大好きな本に夢中になる子どもたち。これは10年以上前から始まった「朝読書」という取り組みで、授業開始前の10分間、児童それぞれが「自分の好きな本を静かに読む」というものです。このほかにも、本を通じて豊かな感性を身につけてもらおうと、保護者による読み聞かせも活発に行われています。

本を読む効果は、子どもの成長段階に伴い変化していきます。児童にとっては、学力の基礎となる言語力や考える力、想像力が高められ、豊かな情操が養われます。このように本は、学びの宝庫であり、得られるものがたくさんあります。子どもたちの成長に欠かすことができない、多くのことを学ぶことができる読書。市や学校では、子どもたちが大切にしたい一冊に出会うことができるよう、成長段階に応じた取り組みを通じて、生涯にわたり、本に慣れ親しみやすい環境づくりに努めています。



▲一人読書で落ちついた一日がスタート



図書館まつり



10月27日から11月9日までは読書週間です。この期間中、市の図書館では下表のとおり「図書館まつり」を開催します。11月3・4日は、図書館を中心に活動している団体の皆さんが、日頃の活動成果を発表します。また、本に親しむきっかけと

して、ミニ絵本づくりや朗読の実演など、お子さんから大人の方まで楽しめる催しを用意してお待ちしています。申し込みは不要ですので、直接会場へお越しください。問い合わせは中央図書館(☎664・4321、FAX662・2789)へ。

図書館まつり日程表

会場	内容	日時
★八王子駅南口総合事務所	読書感想画コンクール入選作品の展示	10月27日～11月11日の午前8時30分～午後7時(27・28・4・10・11日は5時まで。3日は休み)
中央図書館	図書・雑誌のリサイクル	10月26・27日午前10時～午後4時30分(27日は4時まで)
	秋の朗読会	10月27日(土)午後1時30分～4時
	録音・点字図書や手づくり絵本の展示、本の修理、八王子の郷土研究の発表など	11月3・4日の午前10時～午後5時(4日は4時まで)
南大沢図書館	昔話の語りなど	11月3・4日の午後2～3時
川口図書館	雑誌のリサイクル	10月26～29日の午前10時～午後4時
川口図書館	図書のリサイクル	10月27日(土)午前10時～午後5時

★は海外友好都市の小学生による作品もあわせて展示します。

子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの安全な下校のため、松任谷由実さんの「守ってあげたい」を午後1時30分に防災行政無線で放送しています。メロディーが聞こえたら子どもたちの見守りにご協力をお願いします。

教育委員の人事

教育長・委員長が再任

平成24年9月30日に任期満了となった坂倉仁委員、和田孝委員が10月1日付で再任されました。任期はともに28年9月30日までです。

また、10月1日に開催された教育委員会定例会において、教育長には坂倉仁委員が、委員長には小田原榮委員が、職務代理者には川上剋美委員がそれぞれ再任されました。委員長の任期は、1年です。



▲前列左から川上剋美委員、小田原榮委員長、金山滋美委員、後列左から坂倉仁教育長、和田孝委員

問い合わせ 教育総務課(☎6
207403、FAX62778
811)へ

ゆめおり教育 フォーラム

「熟議」を開催

「開かれた教育委員会」をめざして開催しているゆめおり教育フォーラム。教育委員や地域の方などが熟慮と討議を重ねる「熟議(じゅくぎ)」方式で行います。今回は、東日本大震災で重要性を再認識した地域の絆(きずな)や命の大切さを子どもたちへ受け継ぐための方策について話し合います。

日時 12月15日(土)午後2～5時
会場 八王子市教育センター
申し込み 不要、直接会場へ
※手話通訳が必要な方は、11月15日までにファックスで教育総務課までご連絡ください。



▲子どものために真剣な話し合いを(昨年のゆめおり教育フォーラムで)

問い合わせ 教育総務課(☎6
207403、FAX62778
811)へ

教育委員会の動き

7回の会議を開催

平成24年7月から9月までに定例会を5回、臨時会を2回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】
○市立学校長候補者の募集について

【協議事項】
○今後の支援教育の推進体制について

【報告事項】
○ロンドンオリンピックに出場する本市にゆかりのある選手の激励について

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
10月24日(水) 午前9時～	市役所議会議事室 4階第3・4委員会室
11月7日(水) 午前9時～	
11月21日(水) 午前9時～	市役所本庁舎 で開催
12月12日(水) 午前9時～	

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

問い合わせ 教育総務課(☎6
207403、FAX62778
811)へ

災害用 伝言ダイヤル

171のご利用を

災害発生時には、多くの方々が一斉に家族や知人などに連絡をとるため、電話がつながりにくくなります。そんな時、重要な安否確認ができるよう、NTTから「災害用伝言ダイヤル」が提供されます。市立小・中学校では、災害時に子どもたちの状況や保護者へのお知らせなどを録音します。学校が録音をした伝言を聞く手順は、左表のとおりです。いざという時のために、ぜひ利用方法をご確認ください。

学校の伝言を聞く場合

- ①「171」にダイヤル
- ②「2」をダイヤル
- ③「学校の電話番号(市外局番から)」をダイヤル
- ④伝言を聞く

問い合わせ 教育総務課(☎6
207403、FAX62778
811)へ

市立小中学校の状況

平成24年9月1日現在

- ①小学校数70校
児童数28,850名
(前年同月比 -386名)
- ②中学校数38校
生徒数13,747名
(前年同月比 -44名)